

箕輪町 議会だより

みんなのぎかい

Minowa Town Assembly News

第88号

2024.5.1



北小河内「無量寺」
樹齢約400年の名木「いちじ」

特集

お金の使い方、町の姿が見える … P2・3

3月議会で令和6年度予算を審議

CONTENTS

- 3月定例会で決まったこと …… P4・5
- 審査のなかみ …… P6・7
- 議会活動日誌・研修視察報告 …… P8
- 町政のここが聞きたい！
一般質問 …… P9～22
- 改選後、一年を振り返って … P23
- 自治のチカラ …… P24



議会ホームページ

▶ 一般質問の様子を動画で！ 各議員の二次元コードを読み取ると動画を視聴できます。

令和6年度 予算

町が目指す将来像は

「こどもまんなか
みんなで挑戦持続可能なまちづくり」



令和6年度一般会計予算ほか、特別会計、公営企業会計が3月議会で可決されました。

一般会計 131億4,900万円

前年度比 +6%

教育、福祉、道路整備など、主に基本的な行政サービスを行う会計。

特別会計 48億4,787万円

前年度比 +2.3%

公営企業会計 14億7,682万円

前年度比 +3.4%

総額 194億7,369万円

前年度比 +4.6%

詳細は「みのわの実4月号」か町ホームページでご確認ください。

主な歳入

町税 35億4,315万円(前年度比+4%)

- ・町民税
… 16億9,317万円(前年度比+9.7%)

- ・固定資産税
… 15億4,587万円(前年度比-1.7%)

地方交付税 26億円(前年度比+4%)

国庫支出金 10億5,032万円
(前年度比-18%)

町債(借金) 22億6,000万円
(前年度比+32%)

ココに注目! 町債(借金)前年度比+32%
体育館や学校を建設する場合には、多額な費用の財源に充てるため、国や金融機関から借り入れる。返済をあえて長期にすることで、今後、施設を利用するすべての世代の町民で、費用を公平に負担する。

ココに注目! 一般会計予算額
4年連続で最大規模更新



近年、国の公共施設の老朽化対策がとられ、町の大型事業が重なった最終年度であり、さらに物価高騰・こども子育て政策の強化や、DX推進・防災等に取り組む国の対策が講じられたことによる。

みなさんの声が予算に 反映されました(一例)



町ホームページリニューアル

町ホームページの利便性を良くして

1,700万円



農業担い手育成支援事業

農業をやりたいから応援して

710万円



周遊パスポート

観光スポットをもっと知ってもらえるように工夫して

144万円

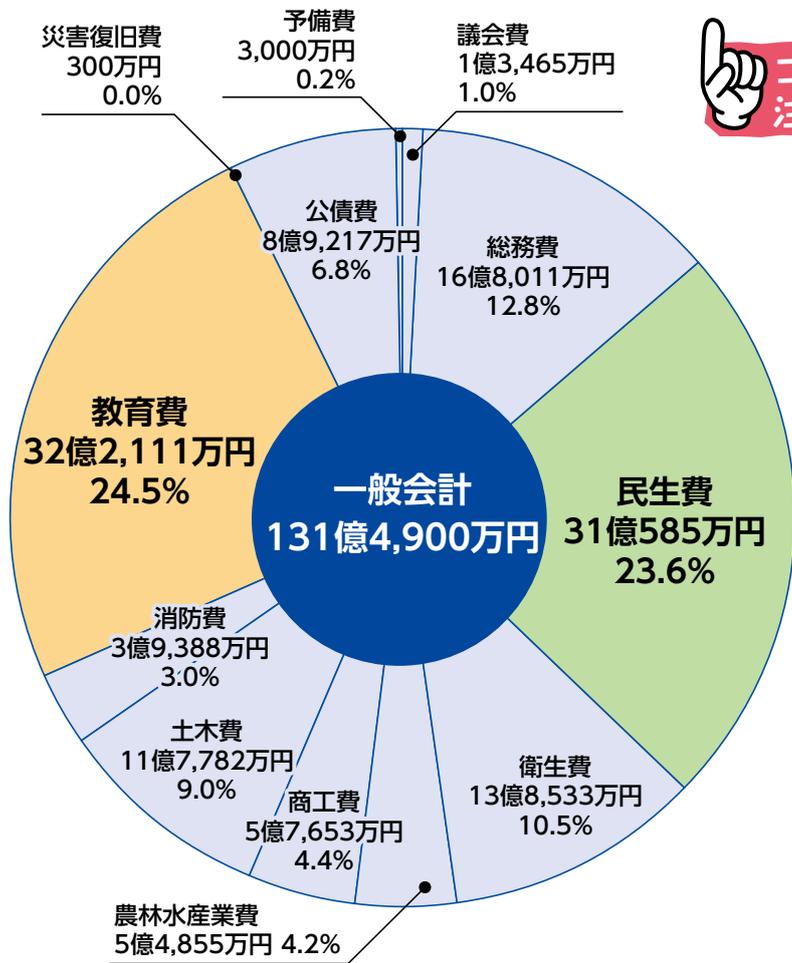


子育て支援センター
屋内の環境整備

屋内環境や遊具の整備をして

122万円





予算の中身は?

こどもまんなか

みんなで挑戦持続可能なまちづくり

少子化対策・子育て支援関連

【主な新規事業】

- 乳幼児用おもむつ用品購入助成 1,130万円
- 在宅保育給付金 612万円
- 保育園通園準備消耗品 309万円
- 小中学校多様な学びコーディネーター配置 341万円
- 小中学校給食費食材高騰分支援交付金 1,172万円
- 小中学校給食費子育て世帯支援交付金 1,934万円
- こどもの居場所拠点事業 700万円

事業費合計 6,198万円

教育費



【主な新規事業】

- 町民体育館・武道館の耐震改修事業 **19億3,278万円**
- 中学校太陽光発電設備蓄電池設置事業 **1億4,883万円**

ゼロカーボン関連

令和5年度	16億4,989万円
追加補正	2億3,478万円
令和6年度	3億6,925万円

現時点の **総事業費 22億5,392万円**

子育て支援予算は、数年前と比べて充実してきたことを高く評価。

学校はいじめや不登校の課題に、どのような対策を打つのか注目。

女性のための一般相談が、男性にも使えるようになったのは画期的。

こども計画策定のためだけではなく、「こども会議」等、継続的にこどもの意見を聴くことが必要。



令和6年度予算に対する 議員の視点

皆さんが望む町の姿が見える予算になっているか、議員それぞれの視点で審議しました。

財政の健全化指標をみると、実質公債費比率7.3%、将来負担比率29.9%(令和4年度)。増加傾向にあり、今後の推移を注視したい。

地球温暖化対策にかかる費用。町民が納得できるように、費用対効果を含め注視していく。

ゼロカーボン推進の意味、事業本来の目的である町民の意識改革につながっているか。



3月定例会で こんなことが決まりました

決定!

2月26日から3月13日までの会期で開催されました。令和6年度予算の他、補正予算、条例制定など全48議案を審議し、原案どおり可決しました。一般質問は、13人の議員が登壇し町政運営を質しました。

補正
予算

くりこしめいきよひ
繰越明許費※ 6億3,800万円

※繰越明許費とは、年度内にその支出が終わらない見込みで、翌年度に繰り越して使用する費用のこと。

令和5年の事業が滞りなく行われたのか。特に、土木費2億7千万円。計画的に推進すべき町内道路整備事業の繰越し額が大きい。土地の協議が難航したのが主な理由とのことであるが、令和6年度の整備計画と合わせて、事業は増加する。進捗を見守る必要がある。

総務費	4,325万3千円	防災交流施設完成後の備品代等
衛生費	1,683万2千円	中学校、博物館等のゼロカーボン事業
農林水産業費	2,200万円	富田地区等の治山事業
土木費	2億7,806万円	町内道路整備、橋点検、雨水排水対策工事等
消防費	1,000万円	耐震性貯水槽設置
教育費	2億5,872万円	文化センター空調設備等改修工事等

繰越明許

6億3,800万円はなぜ？

補正
予算

ふるさと応援寄附金
業務委託料

寄附金の増によるポータル
サイト利用料等

2,536万円

補正
予算

しゅんせつ
河川浚渫工事費

河川に堆積した土砂など
を取り去る土木工事減

▲3,200万円

補正
予算

介護サービス等
諸費



1,250万円

請負
契約

ゼロカーボン推進公共施設整備工事

請負者 日之出建工株式会社 9億4,380万円

公募型プロポーザル方式※による随意契約

※資格のある民間事業者の提案書やプレゼンテーションの質の高さによって、町が発注先を選定する方式。

役場庁舎裏の駐車場全体（100台分）にソーラーカーポート設置（4,700万円）と、その電気を貯めておく蓄電池等（4億6,000万円）、接続等関連工事（1億8,000万円）他、規模の大きな請負契約。

議会は、主には電気工事でありながら、契約者は建設業であり専門性を不安視。また、全国公募の大きな事業に対し、1社しか応募がなかったことも慎重に審査すべき点だった。

全国で、ゼロカーボン推進事業の拡大と、震災復興支援の状況下で、工数と部材関係は取り合いの状態。国の交付金を受けるためのタイトな納期、令和7年3月31日を確実に守らなければ、工事費は町の持ち出しとなり、将来までの負債を残す。

執行部（町行政側）による答弁を受け可決した。工事の完了を見届けたい。

全国公募による入札で
1社しか応募がなかった?!



請負
契約

令和5年度郷土博物館リニューアル
事業建設工事の変更請負契約

契約者 浅川建設工業株式会社 369万円

(変更後総額3億2,269万6千円)

工事内容変更

①階段昇降機設置②電柱の新設③展示ケースガラス厚みを薄くし減額④固定式展示ケースの飛散防止フィルム設置を取りやめ減額



**条例
制定**

消防団定数改正

町は守れるか？

箕輪町消防団の定数100人削減

箕輪町消防団の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正

第2条 消防組織法第19条第2項の規定に基づく団員の定数は、300人とする。(400人から100人減)

分団	地区	改正前	改正後	第4分団 (2,222)	木下	67	46
第1分団 (2,713)	沢	72	65	第5分団 (818)	三日町	52	36
	大出				福与		
第2分団 (624)	下古田	58	45	第6分団 (1,015)	長岡	66	36
	上古田				南小河内		
	富田				北小河内		
第3分団 (2,869)	中曽根	77	63				
	中原						
	松島						

()カッコ内は世帯数

令和5年度団員数351人に対し、実働数は185人で、実際には活動していない団員が多く、条例定数とも大きく乖離している。また各分団の所有する車両の必要数とそこに配置すべき人員数を軸とし、その他条件で定数を算出した。23台ある消防車のうち4台は廃車となる。

消防委員・各分団と調整された内容であり、全区に説明はされていない点を指摘した。担い手不足の現状と、火災発生時の対応に地域課題を残す。

また、団員の約半数が町職員であり、災害発生時には避難所設置や対策本部の任務に就くため、対応できる団員は減る。

地域の人が消防団とともに、どれだけ自主的に動けるか、考えていく必要がある。

**箕輪町こども・若者審議会
設置条例**

こども・子育てに関する支援、並びに若者に関わる施策に関する重要事項について調査審議する審議会を設置。

箕輪町森林環境基金条例

森林整備等に関する財源を基金として積み立て、森林整備・保全に必要な財源にあてる。

**箕輪町農産物直売所
条例の一部を改正**

箕輪町農産物直売所(ファームテラスみのわ)での加工品販売利用料を規定するための改正。利用料は25%~50%を上限に設定。

人事案件 農業委員会委員 (敬称略)

赤沼 好秋・上田 千志・大槻 憲治・小野健一朗・唐澤 金実
唐澤 健二・唐澤 俊秀・倉田 孝子・小島ゆかり・小平 文代
小松 孝寿・鈴木 健二・藤澤 昭二・藤森 英雄

固定資産評価審査委員会委員 (敬称略)
柴 満

陳情

刑事訴訟法の再審規定の改正を求める意見書

意見書

離婚後共同親権導入について現実に即した慎重な議論を求める意見書

賛否が分かれた審議

※討論の詳細は会議録検索システムで後日議事録を閲覧することができます。



提案の趣旨	提出者	入杉百合子	小出嶋文雄	南 朋子	平出 広志	小口 智世	中村 政義	中澤 清明	上田 学	北野めぐみ	金澤 幸宣	白鳥 真吾	中野 友美	岡田建二朗	寺平 秀行	荻原 省三	結果	
箕輪町消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例制定について	箕輪町	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決
離婚後共同親権導入について現実に即した慎重な議論を求める意見書の提出について	小口 智世	×	○	○	○	○	○	×	×	棄	×	○	×	○	×	—	可決	

総務
産業

令和5年度 一般会計補正予算(第10号)

- Q ふるさと納税寄付金業務委託料増加の要因は。
- A ふるさと納税が5千万円増加のため、返礼品等発送料の増。
- Q ペーパーレス化を進める中で、用紙購入費が増加した原因は。
- A 新型コロナ問診票等の全戸配布物の印刷が増加したため。
- Q 繰越明許費の雨水排水の対策工事の工期は。
- A 10月移行の湯水期を予定している。

総務
産業

箕輪町消防団員の定員、任免、給与、サービス等に関する条例の一部改正

- Q 現在の実団員359人を4月1日から300人にし、59人を外すのか。
- A その予定。
- Q 分団ごとの定員は、事前に各区長に説明されたか。
- A 区長会では説明していない、消防団を通じて話しているはず。
- Q 分団の定員の配分は世帯数からみると、逆転現象が生じて不均衡では。
- A 保有車両を主体に必要な人員を算出しているため、この定員配分となった。



総務
産業

現地確認 3月7日(木)

- 歩道設置 町道1号線(大出山口)
- 町道6号線(松島・保育園西)
- 雨水基幹水路接続(沢・保育園北)
- ながた自然公園リニューアル(沢・長田)



ながた自然公園

総務
産業

令和6年度 一般会計予算

- Q ホームページのリニューアルの内容は。
- A 現在のサーバー型をクラウド型に変更する。画面の構成も利便性の向上をはかる。
- Q ゼロカーボン事業の交付金事業の工期はいつまで。
- A 令和6年度末の令和7年3月31日まで。
- Q EV公用車購入の内訳は。
- A 普通車1台、軽自動車4台を予定。
- Q 防災交流施設(みのわベース)の維持管理業務費の内容は。
- A 管理責任者ほかパートタイムを含む従業員7人の人件費と、イベント企画費が主なもの。



4/26 竣工式予定の「みのわベース」

- Q 都市公園長寿命化計画の内容は。
- A みのわ天竜公園、番場原公園の現況調査と今後の長寿命化について計画する。
- Q 新規就農者育成支援事業を移住者に限定するのか。
- A 当初は移住者を考えていたが、町内就農者も対象としたい。
- Q 環境に優しい農作物認証の基準は。
- A 県の環境に優しい農産物認証をもとにハードルを低くして設定したい。
- Q 東箕輪サテライトオフィス(ゆめまちラボ)の利用促進の新たな企画は。
- A 町のハローワーク的な就労支援事業を計画している。
- Q 預貯金照会システムの主な目的は。
- A 税等の滞納者の預貯金調査のためのシステム。
- Q 「赤そばの里」で駐車料金を徴収する考えは。
- A 管理は地元管理団体が行っており、現在徴収する予定はない。

福祉文教 令和5年度 一般会計補正予算(第10号)

- Q 児童手当不用額が2,072万円となっているがその理由は。
- A 当初予算は、過去の実績をもとに策定したが、今年度の子どもの転入出、出生数の実績。

福祉文教 箕輪町こども・若者審議会設置条例制定

- Q 委員のほかに助言者を置くとの記載があるが、随時依頼をするのか。
- A 委員会審議の中で専門的な知識が必要となった場合に依頼をする。
- Q 委員構成の中に学校に在籍するものとあるが小中学生も予定しているのか。
- A 委員会の開催時間が夜間になることもあり、高校生以上を予定している。小中学生の意見を聞く機会を設けていきたい。



福祉文教 令和6年度箕輪町介護保険特別会計予算

- Q 生活支援体制整備事業委託料2,276万円の内容は。
- A 事業委託している社会福祉協議会の、地域福祉コーディネーター8人分の人件費。

福祉文教 **現地確認** 3月8日(金)

トレーニングマシン購入(げんきセンター南部)
 駐車場造成(子育て支援センター)
 移動図書館車の更新(箕輪町図書館)



現在の移動図書館車



げんきセンター南部

福祉文教 箕輪町介護保険条例の一部改正

- Q 第9期の介護保険料改定により保険料収入が全体的に減額になるのか。
- A 全体的には減額となるが、積立基金を取り崩して補てんしていく。令和6年度は1億4,000万円を積立より取り崩す予定。

福祉文教 令和6年度 一般会計予算

- Q こども計画策定支援委託料735万円の内容は。
- A 実態調査・子育て家庭にかかわるアンケート調査・こども会議の運営・計画の素案作り等の予定。
- Q 移動図書館車更新の理由は。
- A 車両が25年を経過し、修理部品調達が困難となったため。
- Q 重層的支援体制整備業務委託料966万円の内容は。
- A 高齢者の家庭に障がい者がいて、しかも困窮状態にあるなど、一つの家庭に複数の課題がある場合の支援を行う。社会福祉協議会に委託している。
- Q トイレ設置用自殺予防カード印刷代24万8,000円について、印刷枚数と設置場所は。
- A 2万枚を予定している。設置場所は商業施設・医療機関など。学校については、中学1年生のSOSの出し方に関する授業時に配布をしている。
- Q 広島平和交流学習事業の参加者は募集を行うのか。
- A 児童生徒の参加者は募集を行う。小学生は親子で7組14人、中学生は生徒のみで10人を予定しており、引率者などを含め全体では30人を予定。

議会活動日誌 活動の一部を紹介し

1月

- 5日 議会広報特別委員会
上伊那広域連合名刺交換会
- 7日 出初式
- 10日 議会広報特別委員会
- 11日 議会運営委員会行政視察（～12日）
- 12日 議会広報特別委員会
- 14日 伊那青年会議所新春会員大会
- 16日 第1回男女共同参画推進協議会
- 19日 長野県地方自治政策課題研修会
- 20日 交通安全祈願祭
- 21日 箕輪町自衛隊協力会新年会
- 23日 町村議会運営研修会
- 24日 箕輪町下水道運営審議会
- 25日 伊那中央行政組合監査
- 26日 箕輪町農業再生協議会総会
- 29日 箕輪町総合福祉計画・第四回策定委員会
- 30日 議会運営委員会
臨時議会
議員定例協議会・箕輪町商工会新年を語る会



2月

- 1日 議会活動活性化委員会・研修視察（～2日）
- 3日 箕輪町社会福祉大会
- 5日 伊那中央行政組合定期監査
- 6日 博物館協議会
- 7日 広域連合議会運営委員会
- 8日 広域水道用水企業団定例会・消防委員会
- 9日 箕輪町建設業協会新年会
- 10日 認知症見守り協力団体すまいる・情報交換会
- 14日 定例協議会・議会運営委員会
- 19日 上伊那広域連合定例会
農業振興地域整備促進協議会
人権尊重のまちづくり審議会
- 20日 企業振興審議会・県町村議会議長会定期総会
- 21日 観光協会フォトコンテスト審査会
- 22日 空き家対策協議会
箕輪町交通連絡協議会新年会
- 24日・25日 庄内協同センターまつり
- 26日 3月定例会開会（～13日）
- 27日 伊那中央行政組合監査
- 29日 箕輪町図書館協議会



3月

- 1日 3月定例会（2月26日～13日）
箕輪進修高等学校卒業証書授与式
- 11日 観光協会推奨土産品認定審査会
- 12日 広報特別委員会
議会だより印刷製本業務プロポーザル
国保運営協議会
- 13日 議会運営委員会
- 14日 社会福祉協議会理事会
- 15日 地域おこし協力隊活動報告会
- 16日 小学校卒業式
- 18日 中学校卒業式
- 19日 伊那中央行政組合議会
- 21日 社会福祉協議会評議員会
菅野高原活性化委員会総会
- 22日 保育園卒園式
信州みのわ花街道推進協議会活動報告会
防災会議
- 25日 広報特別委員会
セーフコミュニティ推進協議会
- 26日 伊那中央行政組合監査



研修視察報告

議会運営委員会

日時：令和6年1月11日～12日
委員：中澤、入杉、北野、岡田、中村、荻原議長
視察地：愛知県西尾市、安城市



議会のDX推進と議場放送設備の更新について調査研修するため、議会を視察しました。西尾市「議場放送収録システムの導入・活用状況」、安城市「電子採決システムの運用状況及び課題」について調査しました。早くからデジタル化に取り組み成果をあげている両市の視察は大変参考になりました。一方で運用にあたっては多くの課題も抱えていることがわかりました。今後の当町議会の取り組みに活かしていきます。

なお6人の参加議員の研修報告は町議会のホームページに公開していますのでご覧ください。

議会運営委員会委員長 中澤 清明



議会活動活性化委員会

日時：令和6年2月1日～2日
委員：寺平、入杉、中澤、岡田、中村、北野
視察地：東京都立川市、埼玉県寄居町



立川市では議員活動の評価に会派別・議員個人・期数別の検証シートを活用しています。寄居町では政策サイクルの取り組みが特徴で、次年度予算に向けて全議員が提言を議論し、全会一致した提案を町長に提出する仕組みを確立し、執行部に対する説得力を高めています。今後の議会活動の参考になりました。

研修報告は町議会のホームページに公開していますのでご覧ください。

議会活動活性化委員長 寺平 秀行



町政の
ここが
聞きたい！

一般質問

議員13人が町に
質問・提案しました。

主な質問	議員	ページ
保育士(会計年度任用)の待遇改善を	中野 友美	10
移動式バリアフリーのトイレトレーラー導入を	白鳥 真吾	11
住み慣れた地域で安心して暮らすためには	中村 政義	12
E V(電気自動車)を防災力強化にどう繋げるか	金澤 幸宣	13
学校に行かなくても学べる機会の確保は	小口 智世	14
故障中の中部小トイレの修繕・改修を早急に	岡田建二郎	15
消防団定員削減は総合的な検証が必要では	平出 広志	16
町の防災部署における女性職員の配属状況は	北野めぐみ	17
脱炭素促進区域、全国初を周知しない理由は	南 朋子	18
どうする！避難所開設	中澤 清明	19
都市計画道路の現状は	上田 学	20
中小規模農家の高齢化と後継者不足対策は	小出嶋文雄	21
安心安全のまちづくり条例、理念は	寺平 秀行	22

一般質問とは

一般質問 町政全般にわたり町長やその他の執行機関に対し、状況や方針、報告や説明などを、各議員が自由に質問して回答を求めるもの。

事前通告制 議会を効率的にするため、質問の内容は事前に「通告書」として提出します

質問時間 制限時間ひとり55分

質問方式 一問一答方式です

質問順 抽籤棒によるくじ引き

どなたでも
自由に傍聴
できます

一般質問を動画でご覧いただけます

※視聴にはQRコードリーダー（アプリ）が必要です。
※動画視聴には通信料が発生しますので、Wi-Fi等の利用を推奨いたします。
※QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。



知ってる？

みのわまちのいいところ

無量寺の宝篋印塔

北小河内の無量寺の庭に豪華な彫刻が施された石造物。宝篋印塔とは、陀羅尼經(だらにきょう)というお経を納める塔のことですが、のちには供養塔や墓碑塔としても建てられるようになりました。

無量寺の宝篋印塔は、文化2年(1805)に建てられたもので、高さが4.3メートルあり、町の有形文化財に指定されています。

塔の周りを四天王・地藏菩薩などの像が囲み、さらにその両側には真言八祖が建てられています。美しく刻まれたその石像に、作者の技量の高さがうかがえます。この塔は、江戸時代後期の3人の無量寺の住職が、世の中の平穏と人々の幸せを祈って建てたもので、この塔にお参りすれば、生きている間は平穏に暮らすことができ、亡くなった後は極楽に往生できるといわれています。ぜひお参りしてみたいはいかがでしょうか。

箕輪町のいいところ、があったら教えてね。
✉ gikai@town.minowa.lg.jp

お待ちしております！



保育士(会計年度任用)の 待遇改善を

なかのともみ
中野 友美 議員



町長 業務・環境・待遇の改善をしていく



保育支援策充実に伴う、 保育現場の対応策は

議員 未満児保育数は、令和6年2月時点で226人、町内の未満児年齢総数に対して46.6%が利用している。20年前から2.13倍、出生数からするとその割合はもっと増えている。さらに保護者が就労していなくても、子どもを預けることができる「こども誰でも通園制度」と、出産で育児休業を取得した場合の在園中の子どもが退園となる「育休退園制度の廃止」など、支援策が充実する。感染症対策をはじめ、おむつごみの園での処理など園側の業務は増える一方で、保育士に対する待遇改善の考えはあるのか？

町長 制度設計はこれから。保育士の確保が受入体制にとっては大事なポイントだと考えている。

議員 特に町内保育園の会計年度任用の職員(正規職員ではない)は188人で保育士の78.7%。労働に対する処遇改善の考えは。

町長 保育士全てそうであるが、単に処遇を改善するというだけではなく、勤務状況を改善していくことが必要である。

議員 保育園は集団生活。その子の特性や保護者とのやり取りの上で成り立つ。新制度により、その中に突然入ってくる子は、整合性、ケア度も格段に変わる。保育はカオスになる。よく保育士の皆さんと話し合いを。

同一労働と雇用形態の 考えは

議員 町内保育園で、クラス担任を持つ会計年度任用保育士は29人。この区分において、正規職員と同一労働に近い業務だ。保育士は、国家資格を持つ専門職。しかし会計年度任用職員は3年勤務以降の昇給はなく、キャリアを積んでも収入に反映されない。勤続20年では、正規職員と会計年度任用職員の年収差は200万円近くになる。この労働条件は適正なのか疑問であるが。

町長 現行制度の中で報酬改定をすることは、考えている。会計年度職員の基本的な考え方は、有期雇用。10年、20年、30年として延長していくという制度は予定していない。実態としてあるということは分かる。しかしベースを上げていく会計年度任用職員を採用することはない。

保育士のモチベーション や労働負担の改善は

議員 支援要請はどんどん上がる中で、保育士のモチベーションをどう保つか。町内にある未満児クラスは26、そのクラス担任は全員が会計年度任用保育士だ。3歳以上のクラスと同じ感覚に意識を変えなければいけないのでは。

町長 保育士の負担について、保育室と職員室以外について、日常

清掃は週2回、業者に委託する。それらを含めて業務改善、労働環境の改善をしていく。待遇改善も、給与水準の増額をする。概ね1%から5%ほどのアップとする。3歳以上児を担当する保育士は、5.8%増を基本ベースで改善をはかり、保育士確保の配慮をする。

議員 保育現場は、根性論で質を保つには限界がきている。人的資本にお金をかけなければ保育の質はほころぶ。保育士の価値を上げることは、子どもを預けたい町につながる。保育士が集まる町にしていくことは、少子化対策につながる。会計年度任用保育士の処遇改善を。



保育園の入園式。未満児の保育中で式に参列できない職員も。

その他の質問

- 在宅保育給付金に対する思い
- R6年度学校教育に関わる事業について
- 学校DX推進の効果について

移動式バリアフリーの トイレレーラー導入を

しろとり しんご
白鳥 真吾 議員



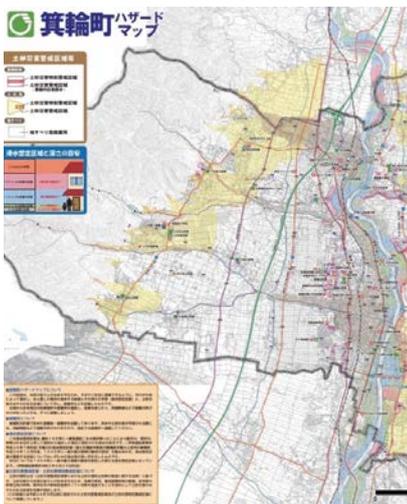
町長 検討はしてみたい



議員 災害時には仮設トイレが設置されるが、車いすの方が段差のある仮設トイレを使用することは非常に困難である。段差を気にせずにご利用ができる移動式バリアフリーのトイレレーラー導入を。

町長 高価であり、ただちというわけにはいかないが、ポイントは観光用やイベント用に活用できるといふこともあり、もみじ湖や赤そばの里は仮設トイレを設置しているので、そこも含めて検討してみたい。

議員 災害が発生した時にどのような災害が起きるのか、避難はどこにすればいいのかなど書かれているのがハザードマップである。新年度に更新が予定されているが内容は。



現在のハザードマップ

町長 桑沢川・深沢川・帯無川の浸水想定区域の見直しがされた。国の補助金を活用してハザードマップについては更新をしていきたい。見直しにより浸水想定区域は拡大するということになる。土砂災害

警戒区域については現状のまま更新をしたい。天竜川の河畔浸食により家屋の流出や倒壊の恐れがあるところを家屋倒壊等氾濫想定区域として公表されているが、入れることによって全体がわかりにくくなるということもあり、現在検討をしている。

議員 孤立地域が発生したときには孤立解消が最優先となるが、状況によっては時間を必要とすることが想定される。町の支援体制は。

町長 町において孤立地域が発生するかどうかということは、陸続きの集落の中で山間部が少ないので、「ない」というふうに基本的には思っている。何が起きるか分からないので少しは考えなければいけない。

町誌編さん事業の考えは

議員 町誌の刊行は町の歴史を後世に伝えていく上で、重要な事業である。町誌編さんについての考えは。

教育長 昭和51年に刊行した自然現代編には、昭和40年代までのことが記されている。50年近くが経過し、様々な出来事も記録する時期に来ている。また、当時を知る方々が高齢化している現状から、編さんする大事な時期であると認識していることも踏まえ、未来のための新しい町誌を編さんしたいと考えている。

議員 刊行までには多くの資料を

収集していく必要がある。中心になるのが、博物館を担当している職員の皆さんである。博物館の運営業務、発掘調査や文化財の保護などすでに多くの業務を行っている。専門の係または編さん室などを設置し人員の配置を。

町長 資料の収集から執筆まで相当な人員が必要だと思う。組織、または事務局体制、事務所の場所をどうするかという問題もある。人員をどんなかたちで集めていくのか、条例設置に当たり検討させていただきたい。現状の組織体制の中だけではできないのは明らかであり、一定の事務局体制をとって対応していきたいと思う。

スクールロイヤー導入の経緯は

議員 スクールロイヤーは、学校で発生する様々な問題について子どもの利益を念頭に置き、法律の見地から学校に助言をする弁護士のこととされている。今回スクールロイヤー制度を導入するに至った経緯は。

教育長 近年、全県・全国的にも学校だけで適切に対応し、子どもにとって最適な教育環境を守り続けることが難しい状況が発生してきている。長野県教育委員会と長野県弁護士会が連携し、県内小中学校がスクールロイヤーに法律相談できるよう体制整備をする事になった。

住み慣れた地域で 安心して暮らすためには

町長 全ての方が全員参加で支え合う事

なかむら まさよし
中村 政義 議員



議員 人口構造の変化により少子化核家族化が進み、経済格差の拡大など、将来に対する不安が拡大。住み慣れた地域で安心して心豊かに暮らすことができる福祉社会の確立が必要と考えるが。

町長 現在箕輪町は平均寿命、健康寿命が全国でも、トップレベルにある。少子高齢化により、一人暮らし高齢者や高齢者のみ世帯が増加。認知症の高齢者が増加傾向にある。家族や社会とのつながりが希薄化する中で、社会的孤立、生活困窮や子どもの困窮、精神疾患の増加、虐待等で地域が抱える福祉課題は、多様化・複雑化。人口減少や少子化による介護人材、地域を支える担い手が不足し、深刻な状況、すべての方が全員参加で支え合いの体制づくりをしていくことが、この社会を維持していくことが必要。

議員 介護者の状況、仕事を続けながら介護を行う介護者の為の環境整備、居宅での介護力を向上するための仕組みは。

町長 自宅で介護できる環境は改善してきているが、施設での利用を望むことが増えているのも事実で、仕事を続けながら介護を行う環境整備はサービスの充実も含め必要だ。重度の要介護者、認知症状への対応も自宅では難しい。移送サービス、食品等の配達、巡回販売等を、介護サービスとして実施していくのは難しい。専門性を要求されないサービスは、他業

種へと切り替えていくことにより、在宅での介護に結びつけたい。

ながた荘・ながたの湯の 経営状況

議員 ながたの湯、安定した営業を行っていくため新たな戦略は。

町長 現在の経営状況は堅調に推移。物価高騰の影響はあるが黒字決算を見込んでいる。ポイントカードや回数券といった職員・社員の発案を取り入れている。

議員 ながた荘のプレミアム価格で宿泊客はあったのか。

町長 プレミアム価格での宿泊はなかったが、料理のリクエストに答えるということはある、料理人が新たに加わり、かなり質の高いレベルの食事が提供できる状況。



小中学校の現況は

議員 中学の運動部・文化部の地域移行は。

教育長 令和8年度までの切替期間に段階的移行が進むように、準備委員会を経て、箕輪町部活動地域移行検討プロジェクトチームを立ち上げ推進。指導者の確保、平日指導と休日指導の連携。練習場所の確保、指導時間の制限、受益者負担軽減など、生徒が安心して、安全に部活動を行うための課題は多く慎重に進める。

議員 各小学校の卒業生・入学生の推移は。

教育長 令和5年度の小学校の卒業生は238人。5年前の平成30年は260人。入学生は207人、5年前は229人、いずれも減少している。

新たな安心安全な まちづくりは

議員 セーフコミュニティ国際認証満了後の新たな安心安全なまちづくりの方向性は。

町長 これまで培ってきた協働の精神やネットワーク、これを生かして新たな安心安全のまちづくりを推進する方針。

EV(電気自動車)を 防災力強化にどう繋げるか

かなざわ ゆきのぶ
金澤 幸宣 議員



町長 EVは大容量の“走る蓄電池”として大きな注目



議員 能登半島地震でも停電時の非常用電源として、EVの重要性が改めて見直されている。公用車のEV転換を強力推進しているわが町は防災力強化にどう繋げるか。

町長 令和元年の東日本豪雨災害、今回の能登半島地震でもEVが、動く蓄電池・走る蓄電池として非常に大きな注目を受けた。EVは蓄電量が大きく置き型蓄電池の5・6倍だ。停電時には役場講堂を災害対策本部としてEVからV2Xを経由して直接電力供給出来るシステムを計画している。

議員 EVの増車だけでは不十分。可搬式給電機(パワームーバー)が絶対数不足。予算補正してでも増設が急務。是非早急に対応を。

町長 プロジェクトチームで検討する。補助金活用が出来るので補正対応になる。台数は検討する。

議員 音の出ない発電機として、平時での有効活用を防災訓練等でデモンストレーションの実施を。

町長 EVで綿あめ作り、みのわ祭りイベント・本部照明等、中曽根権現桜、もみじ湖ライトアップ等、十分活用可能。町民にも見て貰う。

ゼロカーボン諸施策 一般家庭への浸透不足

議員 町施策は、かなり先行しているが、一般家庭へは浸透不足。

町長 ゼロカーボン宣言以後、一定数の事業所はかなり進んでいるが、やはり一般家庭が課題。エネルギーを作る実例体験会を増やすことは必要。実践されている町民の座談会を実施し、そのリーフレットを年内に全戸配布予定。

議員 箕輪はソーラーEVタウンの最適地。その可能性は。

町長 ソーラーEVタウン構想、新たな都市電力とモビリティシステムの在り方として国立環境研究所から発表された。自家消費が高まってCO₂の大幅削減につながる。それを魅力発信する部分もあるので可能性を感じる。課題は初期投資負担と通勤車両を晴れた日の昼間に充電出来ないこと。

議員 「0円設置」のPPAを一般家庭へも普及の選択肢の一つに。事業所の太陽光発電で従業員EVに勤務中の充電を許容する制度導入を推奨・推進しては。

ゼロ室長 来年度チラシには「0円設置」など解り易く表現。従業員EVの事業所充電は、まさに効果的。企業の皆様には是非検討を。

庁舎等の照明LED化は 照度の数値化(明確化)を

議員 LED化に合わせ最大出力照明時の適正必要照度の検証を。過剰照度回避はコスト低減にも寄与。

町長 衛生委員会の中で定期的に照度を計測している。基本的には、JISが推奨する設定照度500～1,000ルクスで全体整備してゆく。照度の調整機能付きが環境省の交付基準になっている。人感センサー、時間帯、昼休み等照度調整や自動消灯による適正運用を図る。

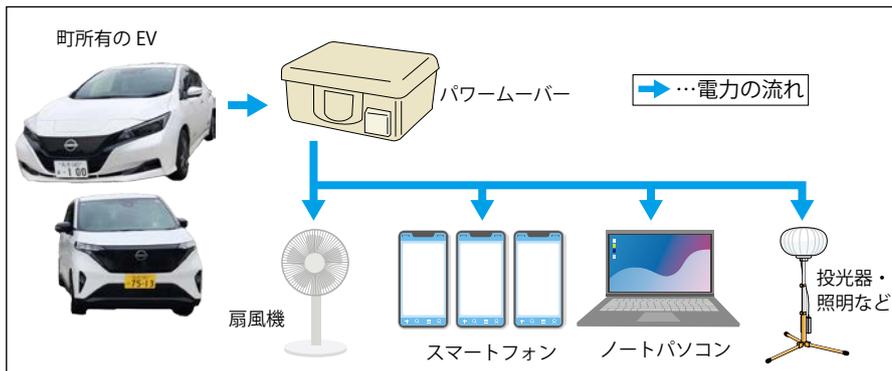


照度計で照度測定をする担当職員

ゼロ室長 未設置の28施設を一気にLED化し消費電力削減を図る。来年度はリース料を2,400万円計上しているが、電気料金1,700万円の削減を見込み、実質700万円程度になるのでは。

その他の質問

- SDGs未来都市の認定取得は
- 飲酒のガイドライン公表受止め



EVからの電力供給イメージ図

学校に行かなくても 学べる機会の確保は

おぐち ちせ
小口 智世 議員



町長 子ども・保護者と学校が相談して



議員 オンライン授業はコロナ関連の欠席のみが対象になる印象。実際、不登校欠席生徒の、自宅からの利用はほとんど無い状況。受けたとしても先生の声が聞きづらく、黒板も見づらい。不登校などの児童生徒が教育の機会を失わないための法律、教育機会確保法が2017年2月に施行されて7年。学校に行かなくても学べる機会の確保は。

教育長 教育委員会の第一義的な仕事は、学校での学びを充実させること。学校に行かないからオンラインというのは、本当にその子にとって必要なことなのか。子ども・保護者と学校とで相談を。

議員 前回の一般質問で、「オンライン授業も居場所利用も出席認定になっているはず」とのことだったが、実際にはなっていなかった。ほかの上伊那4市町村はオンラインも居場所も認定されている。

教育長 あくまで個別の判断。オンラインの受け方、居場所での過ごし方等、学校と連携を取ることに。

議員 出席認定の可能性があるという前提を知らなければ学校とも話はできない。不登校の子を持つ保護者からは、学校からの情報提供がないという声がある。先生も「中間教室や居場所を紹介すると、学校から見放されたと感じてしまうのでは?」と思い、連絡の取り方が難しいと聞く。県の「コミュニケーションシート」を利用しては。

教育長 来年度に向けて必要なものは取り入れる。もし、学校と連

不登校の子の居場所(居場所・フリースクールなど)の情報
不登校の親の会情報 その他()
登校の際は、強いストレスを感じるため、次のことを避けられ
 同年齢との交流・接触交流 異年齢との交流・接触交流
 協力し合う環境 孤独な環境 乱暴な児童・生徒と
騒がしい環境 静かな環境 その他()
出席扱いや通知表については、次のように希望します。
 (通っている場合) フリースクールの利用日を出席扱いにする
(利用している場合) ICT教材による自宅学習を出席扱いにする
 フリースクールや自宅での学習を通知表に反映させること
 上記のいずれも不要です その他()
子どもと保護者の思いについては、次のとおりです。
) 子どもの思い
 家で休みたい 家で学習をしたい 居場所や
フリースクールで学習をしたい

コミュニケーションシート

携が取りにくいようなら、来年度設置する「多様な学びコーディネーター」の活用を。

議員 こどもの居場所拠点事業2ヶ所を始める経緯と、現在決まっていることは。

町長 今でも町内に居場所はあるが、より継続的な支援が必要ということで実施する。相談機能を持ち、常時相談でき、週3日以上開催できるこどもの居場所をつくる団体に、事業委託する。これから公募をかける。これまでの居場所も運営の補助をしていく。

こども・子育て応援条例 について

議員 こども・子育て応援条例の周知方法とその内容は。

こども未来課長 「みのわの実」、町HPに掲載。こども向け、大人向け、やさしい日本語などでパンフレットを作成中。

議員 「こども・子育て応援条例」が、どう「こども計画」につながっていくのか、こども基本法に定められている、こどもの権利の説明が大前提。宣言などで、こどもの権利を

改めて共通認識とする考えは。

町長 条例そのものの周知は、あまり意味がない。大事なものは計画。権利については計画に入れ込む予定。

相談窓口の 人材育成について

議員 県の女性相談などのカウンセリング現場では、「ご主人」「奥さん」という言葉を使わない。「そこまで気にしなければいけないのか」と、ジェンダー平等への価値観のアップデートを拒む意識は、窓口での言動にも表れる。ジェンダーの視点で話を聞くということが大事だが、町民の方から相談を受ける可能性のある職員、特に、DVの相談を受ける職員について、どのような育成を行っているか。

町長 ジェンダーに関わること、DVも児童虐待等も含めて慎重な言葉遣いが必要だが、まだ十分ではない。今年度、性の多様性についての資料提供及び確認テストを実施した。ジェンダーの視点で話を聞くということは、職員1人1人の当事者意識や理解が深まるので、研修を行っていく。DV相談職員については、県の男女共同参画センター、DV被害者保護支援ネットワーク会議等の研修などに、積極的に参加してもらう予定。

その他の質問

● 町の組織体制について

故障中の中部小トイレの 修繕・改修を早急に

おかだ けんじろう
岡田 建二郎 議員



教育長 早急に対応したい



議員 中部小学校高学年の保護者より、個室トイレの半分が半年も故障したままで放置されている、との相談があった。男子トイレ・女子トイレともに個室のドアに張り紙がされ、教頭から「2学期途中から使用不可となっている。業者が忙しく修繕が遅れている」と聞いた。休み時間になると、トイレを探して子どもたちが他の学年棟に走っていく事態となっており、直ちに対応すべき案件ではないか。

教育長 中部小のトイレは水漏れの修繕を業者に依頼しているが、手配ができていない状況。早急に対応している。

議員 学校のトイレは最低限備えておかなければならない設備。業者に対して一刻も早い対応を求めべき。

⇒3月中旬に修繕・改修が完了

冬期・夜間の 防災訓練の実施を

議員 能登半島地震を教訓に、町の防災施策も見直しを図り、これまでも課題となっていた冬季間や夜間を想定した防災訓練を町として実施すべきではないか。

町長 冬期訓練も夜間訓練も必要だと考えている。夜間訓練は今年度実施を予定しているが、区を巻き込んだ全町での取り組みは難しい。区長が代わったところなので、改めて検討していきたい。

議員 箕輪町の防災計画、災害時の廃棄物の仮置き場が番場原運動場となっている。ここは大規模災害時の仮設住宅の候補地であり、災害時の土砂・電柱などの障害物の集積場やヘリポートとしても指定しており、見直しが必要では。

町長 災害時の番場原グラウンドは多様な目的での利用が想定されるので、見直しを図っている状況。

健康推進施策の検証を

議員 昨年、一昨年は例年の1.3倍もの死亡者数が報告され、箕輪町として初めて年間死亡者数が300人を超えた。全国的にも同様の傾向が見られ、厚生労働大臣も「高齢化やコロナ関連死では説明できないほどの急激な増加であり、基礎自治体による実態把握が必要」との見解。箕輪町での死亡者数の増加について認識と課題は。

町長 今年の1月だけで51名の方が亡くられており、死亡者の増加は認識している。死因別に見ると老衰やガン、心疾患などは例年と同じ傾向かやや減少。一方で、主要な死因に分類されない「その他の割合」が10%余り増加しており検証が必要だと感じている。

議員 健康推進の柱は検診・運動・食生活であり、高齢者の方からは「運動を勧められるが、町に出ても腰を下ろして休むところがない」との相談がある。豊島区や伊那市のように、バイパスなどの高規格の歩道にベンチを設置し、今後一層重要となる高齢者の外出支援・運動支援策の充実を。

町長 必要性は分かるが、管理上の面で難しさもある。要望や効果などについて検討していく。



中部小の女子トイレ



中部小の男子トイレ

消防団定員削減は総合的な検証が必要では

ひらいで ひろし
平出 広志 議員



町長 消防団のあり方については引き続き検討したい



議員 消防団の定員を400人から一度に300人に削減する理由は。

町長 実人員と定数の差があり、必要人員を確認し、300人に削減する。削減を前提とした議論ではない。



議員 定員の分団毎の内訳は世帯数で見ると大きく逆転現象が起きているが、各区に示しているのか。区で具体的な数字は承知していないという声があるが。

町長 消防団を通じて各区に知らせていると理解している。

議員 数あわせ的な発想ではなく、車両配置計画や大規模災害時に、本当に必要な人員を各区と十分協議の上、決定すべきである。地域防災の要である団員の定員について、もっと慎重に検討すべきである。

こども・子育て支援について

議員 「こども計画」では高校生・大学生や青年期における就学や就労支援、結婚に伴う新生活への支援等も対象となるが計画での方針は。

町長 今まで町行政ができなかった課題であると考えている。この

部分の計画策定には意を注いで行きたい。

議員 こども・若者の意見聴取の場となる「こども会議」の活用が必要であるが。

町長 これからは、こどもの意見を聞いたうえで施策を展開していきたい。声を上げにくいこども達への対応等、教育委員会とも協議していきたい。

議員 「こども会議」は意見表明の場として継続的に開催する必要がある。自らの意見が活かされ、将来の箕輪町を支える人材育成につながることを期待する。

自転車用ヘルメットの購入補助について

議員 県は高校生世代と65歳以上の住民に補助を行っているが町はなぜ高校生に限定するのか。

町長 県の制度には否定的、少額補助を作ることは反対で、範囲を広げることは考えていない。

議員 安心安全のまちとして、全町民を対象とした導入補助として拡大を行うべきである。

学校体育館へエアコン設備の設置を

議員 大規模災害時には学校体育館が2次避難所として使用されるが、厳寒期や真夏では、長期避難生活での影響が大きく、災害関連死等が懸念されている。

教育現場の環境改善にもつながるエアコン設備が必要である。

町長 設置の主旨はよく理解できる、予算の範囲内で検討したい。

犯罪被害者等支援条例の制定について

議員 犯罪被害者支援に関して、誰もが安心して生活が実現できる社会を実現するため、条例を早期に制定すべきである。

町長 令和6年度中に条例制定に取り組みたい。先進自治体の状況を参考に、相談体制や町民の皆さんの理解等を含め、制定したい。

高齢者が自分らしく暮らせる体制について

議員 2040年までは、医療・介護ニーズの高い85歳以上の人口が急増する見込みである。

現状の「地域包括ケアシステム」では対応できなくなる。

現体制の再構築が必要である。

町長 認知症での「すまいるサポート」制度を参考に、事業者等との連携を考えたい。企業アンケートでも介護の不安を多く抱えている実態がある。事業所の皆さんにも地域包括ケアの一員になっていただけることなどを考えたい。

その他の質問

- 令和5年度の繰越明許費について
- 森林ビジョンに基づく事業について

町の防災部署における女性職員の配属状況は

きたの
北野 めぐみ 議員



町長 今後人事の中で検討する



議員 これまでの地震災害等における避難所運営は女性の声が届きにくい事例が見られた。そこで、現在町の防災部署における女性職員の配属状況は。

町長 現在までのところ女性職員が配属されたということはない。現時点では男女を意識する必要を私は全くないというふうに思っているが、今後人事の中で検討することになると思う。(女性のニーズの把握という意味では、町の防災会議の下部組織で避難所環境向上専門委員会というのはあるが、ここは多くの女性の方が委員として参画をしている。)

議員 女性の視点からの避難所の運営についての町の考えは。

町長 自主防災会への女性参画は各地区ともに日赤奉仕団の方でありますとか民生児童委員の方等が主であるが、救護や炊き出し、要配慮者の避難誘導などの役割を担う場合が多く見られている。避難所の開設におけるチェックシートでガイドラインをつくってある。十分ガイドラインが守られるようにやっていきたい。

子どもを守るための児童虐待の防止対策は

議員 全国的に起きている児童虐待の実態があるが、箕輪町における状況は。

町長 令和4年度の虐待認定件数については、身体的虐待が7件、

性的虐待が1件、心理的虐待が9件、ネグレクトが0件の、計17件が認定件数である。

議員 児童虐待を未然に防ぐために、町はどのような施策を取られているか。

町長 地域の中で見守る体制というものをいかにつくっていくかだと思っている。地域の中から一定のサインが出てくるような形を進めていかなければなかなか未然防止というのは難しいと思っている。

不要食器リサイクルの必要性は

議員 クリーンセンター八乙女の埋立の稼働期間は。

町長 昨年の3月時点でおおよそ25年利用としているので、このペースで行くと残り30年ぐらいの利用が可能であると思う。

議員 不要食器リサイクルについての必要性は。

住民環境課長 廃棄されるものが当然リサイクルに回っていけば、ごみの減量になり資源の再利用につながるものと考え。処分場のほうも期限があるので、こういった活動が広がってくればと考えている。



箕輪町霊園の運営状況は

議員 箕輪町での墓地公園全体の維持管理や、使用者の墓じまいの状況、利用の推移や課題は。

町長 現在の利用状況は約96%である。価値観の多様化や家族の在り方なども変化して、墓地を使用しない、跡継ぎがないといった想定をしなかった事態が起きている。こうした状況から、町では令和4年度に合葬式墓地「踏原の丘」を整備し、同時に使用しない墓地の返還を可能にしてきた。

議員 1年が経過をした合葬式墓地「踏原の丘」の現状と課題は。

町長 踏原の丘については、跡継ぎがないといった理由から墓じまいを行いたいということもあり開設をした。納骨後は墓地の承継とか定期的な清掃が要らないなど、多くの申込みをいただいている。1年が経過した現時点で運営に大きな課題は生じてない。



その他の質問

- 妊産婦・乳幼児向け用品の備蓄状況は
- 児童虐待が起きた時の対応は

脱炭素促進区域、 全国初を周知しない理由は

町長 結果論、意識せず

みなみ ともこ
南 朋子 議員



議員 全国に先駆けて再生可能エネルギーの導入を促す『促進区域』を設定した町。全国で一番最初に宣言した経緯は。

町長 国の推進に率先して対応。公共施設と工業団地を太陽光発電促進区域に設定した。

議員 地元新聞、広報誌にも記載されなかったが、町民への周知は。

町長 あえて宣伝する必要はない。

現在も『促進区域』設定は 長野県では箕輪町だけ

議員 町民からの要望はあったか。周知の予定は。

町長 全国で17市町。現状、県内では当町のみ。配慮すべき区域は決めてある。発表するつもりはない。

議員 町民の要望を聞いて、必要な事業を実現するのが行政。導入の段階から、町民に分かるように説明してほしい。

太陽光発電設備設置の 条例を

議員 伊那市・南箕輪村は条例を持つ。近隣と足並みを揃えて条例を制定し、住民の同意と禁止エリア分けをする考えはないか。

町長 県が、責任をもって運用する。条例は考えていない。町はあくまで調整のスタンス。4月1日より、「太陽光発電設備等の建設に関する指針」の運用を開始予定。

議員 中曽根八幡社隣接のソーラーパネル、伊那市の条例なら文化財保護エリア。条例がないことで箕輪町の価値が台なしになる。町が介入し、森ビジョンと絡め、子どもの教育林としたり、ドローン練習場にするなど、パネルにするだけではない可能性がある。未来の子どもたちにかかる負担、環境に本当によいものか、皆さんも、いま一度考えてみてほしい。

の場所がいいとは、誰が見ても言えない。複合施設化は一つの案。

議員 役場前の通りにあり、この町の子どもに対する姿勢、大切にしていないと訪れる人に宣伝しているようなもの。こどもまんなか施策の予算組みなど、早急に検討を。

移住者を増やすために

議員 最大の課題は、人口減少問題。今、子どもを産んでも町の力として活躍するのは20年後。そこまで猶予はない。移住者・関係人口を増やすことが急務だが、町の取り組みは。

町長 施策に市町村間の差はなく、大きく変える必要はない。課題は、女性が暮らしやすい地域づくり。魅力度を上げるために、行政の質を上げるほうが重要。

議員 同意。補助金を出すとか、移住担当課が頑張るだけではない。お隣南箕輪村は、県内でも唯一、人口増の長期予測が出ている。上伊那近隣から、南箕輪村へ移動するのはなぜか。

競うのではなく、予算の使い方など、成功事例をまねて、伊那谷全体で手を取り合っ一緒に人口を獲得していくやり方がいいのではないか。

中間教室『もみじ』

議員 外観だけでなく、室内も居心地悪く、特に低学年の児童にふさわしくない環境では。改修もしくは、別の場所へ移る考えは。

教育長 改築、移転も含めて検討中。

議員 中学校から近い利点もあるが、玄関位置への配慮もある。懸案の図書館建て替えと合わせて、複合施設化しては。

町長 数年議論している課題。今

その他の質問

- 持続可能な町とは
- SDGs未来都市、デジタル田園都市国家構想総合戦略



促進区域に設定しているのは、県内では箕輪町のみ

どうする！避難所開設

なかざわ きよあき
中澤 清明 議員



町長 町と区で連携、協力して



議員 前年度のある区長から在任中一番気がかりだったのは災害が発災したときの対策についてノウハウもなく、手順もわからない、町との関係もよくわからないとのことだった。そこで防災対策の次の点について伺う。

①避難所開設が必要になった時、開設及び運営の主体はどこか。区長の判断で出来るか。②防災倉庫の配置状況と保管品は、また利用手順は。③避難所用品の保管状況は。④町と区の情報共有の状況は。⑤区役員向けの防災マニュアル作成が必要と考えるが。

町長 ①基本は町から区長に開設をお願いするがどちらかがやらないといけないということではない。②防災倉庫は全区にある。保管品についてはわからないので整理したい。町の防災倉庫の利用については区長から申し出があれば対応する。③町では地区防災会に毎年10万円を交付し備蓄をお願いしているが、その後の在庫状況については把握していないので早期に対応したい。④⑤この点については確かに課題と思う。区からの情報で町が動き出すので情報共有は必要で、役割分担もはっきりした方がよいと思う。早期に解決に向けて努力する。



子育て支援予算 さらなる充実を

議員 子育て支援予算は大幅に増額され、充実したことは評価するが次の2点について伺う。①今給付している2万円の誕生祝い金が少子化対策になっているか出産増につながっているか検証し、バラマキの給付を見直して本当に必要な子育て事業に予算を回すべきでは。②子育てに悩みを抱える人に手を差し伸べることは大事なことで。専門的知見や資格を持ち、何よりもそのことに情熱を持った人の存在が欠かせない。町にはそうした民間の取組みがある。行政の直接事業も大事だがこうした民間事業の育成も欠かせない。居場所づくり事業の民間予算の増額をお願いしたい。

町長 ①出生率を上げる効果を期待しているわけではないし、効果が上がっているとも思わない。要請いただいたので再度検討したい。②従来から開設されている居場所事業はボランティア的要素が強かったが少し増額させていただいた。居場所拠点事業は委託事業で350万ほどを予定している。通常の委託事業と少し異なるが柔軟な対応をしたい。民の事業を充実させ子育てに悩みを抱える人に向けたチャンネルを増やすことについては私も共感する。

天竜川 固定堰改築計画について

議員 天竜川上流河川事務所から計画の説明が始まっているようだが水利権者等からは不安の声が聞かれる。①国からの町への説明はどうか。また本計画に対する町の認識は。②今後水利権者等へどう寄り添っていくか。

町長 ①平成27年から説明があり、令和3年度には関係者で連絡会が組織された。国の説明は防災上の観点から固定堰を撤去することだが、町でも天竜川の安全度を高めるため固定堰を改修することは必要と考えている。②事業主体としては固定堰は国、用水は県がすべきと思っている。用水の管理を小さな水利組合が行うのは将来的デメリットが大きすぎるので組合の意見も聞きながら対応していく。

聞くことのできる 職員養成

議員 町民の役場接遇への不満の多くは「聞いてもらえなかった」に起因することが多い。「聞いてあげる」、「寄り添ってあげる」ことのできる職員教育育成についてどう取組むか。

町長 そのような職員養成は大事と考えている。研修教育で出来ることと経験の中で培うことを考えながら職員教育にあたりたい。

都市計画道路の現状は

う え だ ま な ぶ
上田 学 議員



町長 現時点で実施していく状況にない

議員 都市計画マスタープランが策定されおおむね20年になるが今現状の町の都市計画道路の現状とこれからは。

町長 平成28年に計画決定されて現在7路線が計画道路である。整備済みの道路は60%。将来を見据えて再検討する時期には来ている。

議員 木下三日町線の木下郵便局の東側に建物が建っているのがここは12メートルの都市計画の線が入るところであり当時住民もその計画のために家を手前に建てた経緯があるのにこれはなぜか。

町長 今は計画決定の段階で事業決定の場合には拡幅があることを同意してもらい建ててもらっている。

地区計画に対して町の関わり方は本来的には町が主導で進めていく道路である。現時点では実施していく状況にはない。



現在の防災対策は

議員 能登半島でも被害が出たブロック塀だがまた町の補助事業をやるつもりはないか。

町長 当時学校側から要望を頂い

た。学校関係者とも相談して検討する。

議員 罹災証明や応急危険度調査はタブレットを使用してできるようになっているか。

町長 なっていないが検討しないといけないと思っている。

議員 下水道より地震に強い浄化槽だが設置をする場合の町長の基準は。

町長 下水道があるところは下水道に接続。下水道区域でない場合は浄化槽で対応する。

議員 防災も含めたスターリンクの設置は。

町長 災害時の通信手段について引き続き検討する。

姉妹都市豊島区へのホームステイをしてみてもどうか

議員 家庭教育支援の一つとして豊島区へホームステイしてみても。

教育長 小学生6年生の修学旅行のコースに形が合えば。研究したい。

リニューアル後の博物館

議員 リニューアル後の博物館の目玉は。

教育長 おしゃれで安全でより使いやすい空間整備。展示物に関してはより箕輪町が理解できるような展示。

議員 年間の利用見込みは。

町長 年間2000人以上が目標。

議員 新しくできることは。

町長 図書、講座室、エントランスのフリースペースができるので、展示だけでなく講座の活動もできる。



クマの指定管理鳥獣について町の考えは

議員 クマが指定管理鳥獣された場合町の考えは。

町長 基本的にはクマの個体数を減少させようと思ってないが人身被害の防止の観点から一定の捕獲要件の緩和は必要であると思っている。



中小規模農家の高齢化と後継者不足対策は

こいでしま ふみお
小出嶋 文雄 議員



町長 町独自で箕輪町農業応援団計画を策定している。



議員 経営農家の現状は。

町長 農家総数は、2010年時点で1,738経営体であったが2020年時点では1,365経営体となり、10年間で373経営体が減少、22パーセントの減である。販売農家も292経営体が減少し596経営体となり、3分の1は減少している。1ヘクタール以下の農家が7割を占め、販売規模の小さい農家の減少率が高く、農家を離れていく方が多い。もう一つの課題は、箕輪の農地一帯を担っていただいている「農事組合法人みのわ営農」ですが、経営困難な個人農家の農地を引き受け、おおむね100ヘクタールを超える農地を経営しているが、オペレーターとして従事している方の平均年齢が75歳になっている。今の農家の状況は厳しく、生産面、人手不足、担い手確保、など大きな課題を抱えている。

経営の継続と後継者育成は

議員 農業経営者の高齢化により経営不可能になった場合、まず高齢化した農家が省力化により継続

していく場合、二つ目に専業農家の後継者を育成する場合、三つ目に兼業農家としての後継者育成する場合の3点について伺う。

町長 1つ目の省力化ですが町にあった、町の農地にあった、また技術にあったスマート農業を考えて、研究させていただく。2つ目の後継者育成ですが、今田んぼと畑について農業委員会を中心にアンケートをしているがそれがまとまり次第地域計画の策定に入っていく。その中で、担い手に農地をどうやって集約するか作物はどうやってどこに作っていくか話し合いで決めていく。その中で後継者に受け渡していく。困るのが、大規模な設備のある酪農、ハウス園芸作物、果樹などの農家が辞めた場合ですが、設備、園地の継承事業継承できるような方策を考えていかなければならない。3つ目の兼業農家の農経者対策ですが、5分の1農業でも10分の1農業でも子供さんに農業に従事してもらおう状況をつくっていったら定年になれば農地といそむようにして欲しい。それには各地区の営農組合の皆さんの協力を得て農業を継承する機運を

つくっていったら欲しい。

後継者がいない場合は

議員 後継者が全然いないという農家に対する対策と支援は、人農地プランも含めて伺う。

町長 人農地プランで農地の集約、集積を実証してきたがなかなかプランどおりに進まない。農地を出したい人、受け手の要望を取りまとめるだけで希望の羅列になっていたが、担い手だけでなく作物をどうしていくか、集約した農地に何をつくっていくか決めて、農地と担い手の集約を図っていかなければならない。農業委員会の皆さんとJAにも協力いただいて進めていきたい。

みのわ営農への支援は

議員 「みのわ営農」などの農業の経営を引き受けている団体も高齢化が進んでいる中その支援について伺う。

町長 オペレーターの平均年齢が75歳を超えてきていることもあり、運営面の人的支援、機械導入への補助など続けてきたが、農地の遊休化を防ぐためにもこれからは、オペレーターの確保なども含め運営面での支援を続けていきたい。

その他の質問

● 萱野高原を観光地として活用していく方法と方向は



安心安全のまちづくり条例、 理念は

町長 セーフコミュニティがベース

てらだいら しゅうこう
寺平 秀行 議員



議員 箕輪町が制定を目指す「安心安全のまちづくり条例」について、基本理念の制定に当たっては、セーフコミュニティの理念をベースとしたものになるのか。

町長 理念の基盤はセーフコミュニティに適合するものだと思っている。これは、予防策を立てることで問題が発生する前に対処できるという前提に基づいている。したがって、何か問題が生じた場合に対処するのではなく、その前に町として実行すべきことを決めていく。今まで、たとえば救急に関しても、伊那中央病院からデータをもらい、箕輪町の課題を明らかにし、それを政策に反映させてきました。しかし、今回のセーフコミュニティが無くなることにより、こうした取り組みが実際にはあまりできなくなる。第三者評価が可能な数値目標や対策を定めることを、今回の条例で考えたい。

防災協定の運用状況は

議員 箕輪町は、豊島区や幸田町と自治体独自に防災協定を結んでいる。また、様々な防災協定を結んでいる。今回その防災協定が発動されたが、運用の状況は。

町長 町が締結している防災に関する協定は、官民合わせて70ある。このうち、公の機関との協定は13ある。今回、内灘町への物資の搬送や運搬については、幸田町との協定に基づいた。幸田町が

内灘町との協定を結んでおり、幸田町からの要請に基づいて、災害時にトイレや携帯用トイレの支援を行った。これは直接的な記載はないが、町村間の協力の一環として、今回支援を行った。



自殺予防の取組は

議員 箕輪町の自殺者数の推移を見ると、男性の自殺が増加している。原因は。

健康推進課長 箕輪町における自殺の状況は、箕輪町では、年によって大きな差があるが、平均して年間5人前後が自殺している。ここ3年間の男女別の数字は、令和2年に男性が4人、女性が2人、令和3年に男性が4人、女性が1人、令和4年には男性が6人、女性が4人となっている。確かに男性の方が多い傾向にある。この傾向は国や県でも同様で、県内では男性の自殺者が女性の2倍以上となっている。原因については個人差があるが、令和5年度のアンケート結果から見ると、ストレスの主な原因は勤務、経済、健康、家族の問題が挙げられます。特に男性は相談

相手がいないと感じるケースが女性よりも多く見られた。この点が男性自殺が多い要因の一つと考えられる。

不登校児童生徒の 学習支援は

議員 不登校児童生徒の学習について、勉強がつまらなさと学校に行きたくなくなる気持ちは理解できる。不登校児童生徒や休みがちな生徒の学習支援について現状と教育長の見解は。

教育長 授業の改善と学級づくりが基本である。学級満足度や意欲を測る心理テストQUを導入している。これにより、登校が難しくなる生徒を事前に把握できる。ただ、現実に形になっていない部分もあり、来年度は再び基本に立ち返り、分析結果を授業や学級づくりに生かす取り組みを重視したいと考えている。

また、不登校ぎみの子供たちへの学習対応については、理解が難しくなり、学校への足が遠のくこともある。人間関係の疲れやトラブルもその原因となる。こうした状況を早く把握し、担任だけでなく学年や職員間でチームを組み、関わり方を検討し実践している。

その他の質問

- 多文化共生について
- 消費者保護について
- SDGs未来都市について

改選後

一年を振り返って



● 荻原 省三 議長

箕輪町議会に新しい風が吹いたことを実感した一年でした。この風を追い風として議長としての職責を全うし、町民の負託に応えられるよう残りの一年頑張りたいと思います。



● 入杉 百合子 副議長

新しい体制でスタートした議会が、スムーズに運営できるよう、いろいろな面で調整を重ねてきた一年でした。ステップアップの2年目を送ることができるよう頑張ります。



● 小出嶋 文雄 議員

コロナの終息へ、しかし、コロナ前には戻らぬ生活、人口減少下でのこども政策、ゼロカーボン、DX推進の波。町民目線で考えていきたい。

● 南 朋子 議員

初めて知ること、様々な課題の発見、どこから取り掛かればよいかわからない重圧。今を生きている私たちだけでなく、これから生まれ来る将来世代と双方の視点を持ったまちづくりを、皆さんとの対話のなかで考えていきたい。



● 平出 広志 議員

役場職員から行政運営の監視と政策の決定を判断する議員となり、180度立場は変わりました。町の皆さんの期待をヒシヒシと感じております。皆様の声と心を代表し輝く箕輪町を思い、町政運営には是々非々で臨んでいきます。



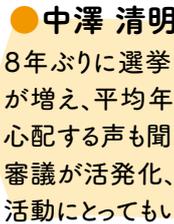
● 小口 智世 議員

目立つのが苦手で静かに生きてきた私にとって、激変の1年でした。大勢の方の応援、失敗に対する温かいお言葉、感謝に堪えません。声が小さくても1人ひとりが大切な存在。これからも皆さまの声を届けてまいります。



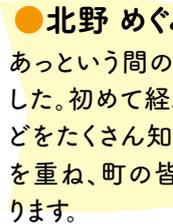
● 中村 政義 議員

今年度は福祉文教常任委員会の委員長として委員会審査、委員長報告等を行ってまいりました。新人議員も多く委員会をまとめていくのに苦勞しました。次年度はもっと活発な委員会となるよう努力していきます。



● 中澤 清明 議員

8年ぶりに選挙で選ばれた新議会。女性議員が増え、平均年齢もかなり若返った。巷からは心配する声も聞かれたが、新しい視点から議会審議が活発化、深化したことは確か。私の議員活動にとってもいい刺激を受けた1年でした。



● 北野 めぐみ 議員

あっという間の、そして、無我夢中の一年間でした。初めて経験することばかりで、町のことをたくさん知ることができました。さらに研鑽を重ね、町の皆様のお役に立てるように頑張ります。



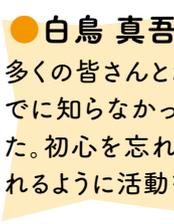
● 上田 学 議員

約1年経験し、最も大事な課題は二つです。「地域と政治を近づける」「議員を一つに」これが残り3年でやるべきことです。



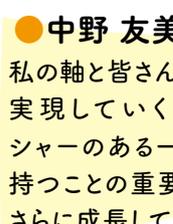
● 金澤 幸宣 議員

年を重ねるだけでは人は老いない。歳月は皮肉にもシワを増やすが、情熱を失わなければ心は膨らむ。志しを失った時初めて老いる。住民(町民)代表として住民意思を把握し、合意形成の重要性を改めて再認識。



● 白鳥 真吾 議員

多くの皆さんとお話をさせていただき、これまでに知らなかったことを多く学んだ一年でした。初心を忘れず、少しでも多くの声を届けられるように活動をしてまいります。



● 中野 友美 議員

私の軸と皆さんの声を、どれだけ大切に届け実現していくか、学びと心地よいプレッシャーのある一年でした。皆が町に関心を持つことの重要性が伝わる活動になるよう、さらに成長していきます。



● 岡田 建二郎 議員

新しい議員の皆さんの視点や発想に刺激を受けた一年でした。また、総務委員会の委員長を務めましたが、委員や事務局に頼ってばかりでした。残りの任期は委員の皆さんとともに議会全体を底上げできるよう精進します。



● 寺平 秀行 議員

改選後、1年が経ちました。この間、支えていただきました町民の皆様へ厚く御礼申し上げます。コロナ禍を経て町政運営も変わりました。時代を先取りしてまいります。

“町への想いを、議員に聞かせてください”

自治のチカラ

仕掛け人は町民
みなさんのパワーが町を変える 

秋の風物詩として、赤そばの季節と同時期に鮮やかな青い朝顔が咲き誇る畑が上古田にあります。

上古田の住民組織「これからの農業・林業を考えるEグループ」(唐沢光範代表)が、2006年から遊休農地を活用し、地域の活性化を目的に朝顔やスイセンなどの栽培に長年取り組んできました。



繋がった！町の観光資源 「ヘブンリーブルー」



Eグループ代表
唐沢さん

「ヘブンリーブルー」は、「赤そばの里」とセットで県外からも観光バスでツアー客を呼び込む、有名な観光地となっております。

しかし、昨年末「Eグループ」から令和5年度で朝顔の栽培を中止する表明があり、多くの皆さんが残念な思いを抱きました。メンバーの大半が80歳を超え、雑草対策が手に負えなくなってしまっていることが最大のネックであるとお聞きしました。

そんな折、上古田のボランティアグループ「GO WESTかみふるた」がEグループの朝顔の栽培部として活動を引き継いでくれることが決まりました。

この若い皆さんの「地域の宝を守り続けたい」という心意気に大いに感銘を受けました。立派に育ったレッドとブルーがコラボする観光名所の更なる発展を心から応援します。

プチ情報

上古田の「ヘブンリーブルー」は「粉雪」で有名なレミオロメンの1stアルバム「朝顔」のCDジャケット写真に使われています。

親しみやすい誌面になった。これからはこのスタンスで続けて欲しい。

こども・子育て応援条例の目的・理念の文章が分かりやすかった。

議会だよりに関する意見

一般質問のページで余白があるのはいいが、そのか。

議長の一日がおもしろかった。

全体的に見やすくなってよかった。

赤十字社へ能登半島災害義援金報告

箕輪町議会は、令和6年1月1日に発生した能登地方を震源とする地震で被災された方々を支援するため、日本赤十字社を通して11万5,000円を寄付させていただきました。

6月定例会の日程

5月31日(金).....	開会
6月10日(月).....	一般質問
6月11日(火).....	一般質問
6月12日(水)~14日(金)	委員会審査
6月17日(月).....	閉会

編集後記

春も進み、いよいよ田にも水が張られて田植えの準備も進んでいます。体を動かすには良い季節となりました。

わたしは、健康維持のためにトレーニングを始めて、4年ほど経ちます。そんな折、健康のカギの一つに「ミトコンドリア」の活性化が大切であることを知りました。生物の授業で、この名前と形くらいは覚えていますが、この「ミトコンドリア」を元気にすれば健康と若さを維持できるそうです。腹八分目の食事で空腹になると、さぼっていた「ミトちゃん」が「このままではまずい」と奮起するそうです。また、有酸素運動で体が酸素不足になるとまた「ミトちゃん」が奮起するそうです。

若さと健康づくりのため皆さんも「ミトちゃん」を元気にする習慣をわたしと一緒に始めてみませんか。(平出 広志)

議会だよりに関するご意見がありましたらお寄せください。

議会事務局
電話 0265-79-3187(直)
お問い合わせフォームはコチラ▶



〔議会広報特別委員会〕 中野 友美 (委員長) 白鳥 真吾 (副委員長)
南 朋子 平出 広志 小口 智世